

特別支援教育コーディネーター通信

令和7年5月28日
NO. 1
都立板橋特別支援学校
校長 山岸 直人

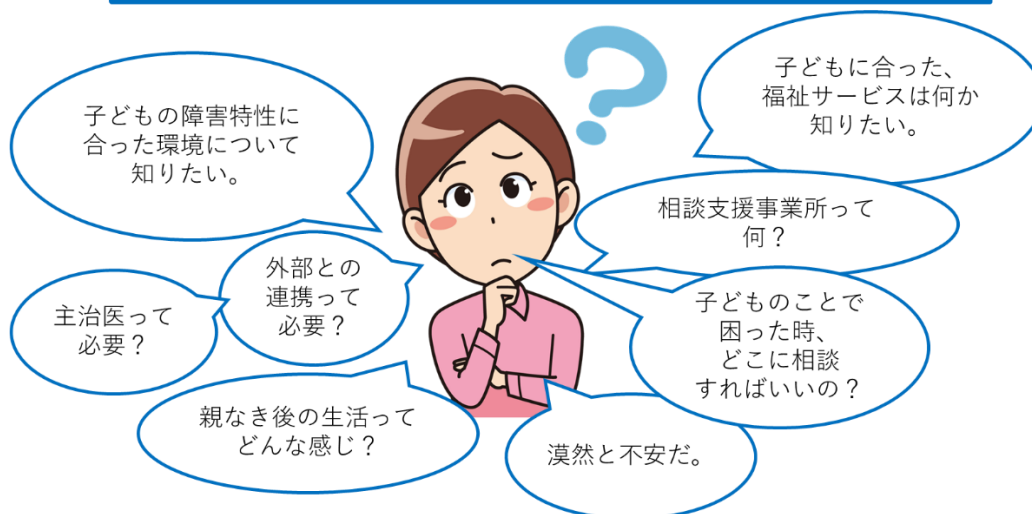
新年度が始まり2カ月が過ぎようとしています。新しい教室や先生にも慣れ、不安を抱え込むことなく学校生活を送れていますでしょうか。本校では、コーディネーター通信を発行しています。通信を通して、特別支援教育コーディネーターの役割や、様々な情報、活動の紹介等を発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

特別支援教育コーディネーターとは？

保護者の相談の窓口となったり、校内外の関係者の間の連絡調整をしたり、生徒への支援を推進する役割を担っています。本校では御家庭や担任からの相談を受け、必要に応じて外部の関係機関とも連携をしながら支援を進めています。

また、専門性を活かし、地域における特別支援教育に関する相談のセンター的な機能を担っています。本校は6校9課程の都立高校の発達障害教育における校内体制づくりや、困難さを抱える生徒への支援、通級開設に向けての相談等に対応しています。相談内容によっては、都立高校に巡回訪問をしたり、校内研修会の講師などを行ったりしています。

困っていること、不安なこと、知りたいこと、ありませんか？



困ったとき、迷ったときは、お気軽に 特別支援教育コーディネーターまで、お声がけください。

特別支援教育コーディネーターの紹介

＊校内支援、関係機関との連携、入学相談

＊センター的機能における高校支援

(専任) 金戸 梨紗子 (兼任) 吉田 祐里

本校では、日常の指導や支援に関する最初の相談窓口は、担任としていますが、コーディネーターに相談したい場合は、遠慮なく直接御連絡ください。

【お問い合わせ先(担当:金戸) 03-5398-1221】

スクールカウンセラーの配置について



令和7年度都立特別支援学校に東京都公立学校スクールカウンセラーが配置となりました。4月の全校保護者会で校長よりお知らせした通り、本校にも4月から配置されており、週に1回程度在校しています。東京都では学校に配置されたスクールカウンセラーが、高等部1年生の生徒と面接を行うことになっています。本校においては、1～3年生の全員面接を実施します。全校生徒が面接することで、「顔が見える関係」を構築し、つながりを作ることができます。また、生徒が直接話をするすることで、「相談への抵抗感を和らげる」ことも期待できます。在学中はもちろん、卒業後、「相談する力」はとても大切です。今のうちからその力を高めていけると良いですね。なお、生徒の状況、実態に応じて、面談を観察に替えて行うこともあります。保護者からの相談も可能です。スクールカウンセラーの来校日や、保護者からの相談の申し込み方法については、全員面接終了後、改めて御案内させていただきます。全員面接は9月下旬頃に終了予定です。



スクールカウンセラーご挨拶

本年度よりスクールカウンセラーとして勤務することになりました小林 隆司（こばやし たかし）と申します。よろしくお願いいたします。

現在、板橋特別支援学校と都立高校でスクールカウンセラーをしています。

スクールカウンセラーは、不安な気持ちになったときや、困ったときに、一緒に考えたり、気持ちを整理したりして、学校生活を楽しく送れるようにお手伝いをします。

お子様が「友だちと仲良くできるか心配」、「イヤなことがあって、気持ちが落ち着かない」など、ストレスを感じているときは、「スクールカウンセラーに相談してみたら」と伝えていただければと思います。

